

こんなときは

新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：乳汁止まれば妊娠可能か

2年前に長女を出産しました。2人目がほしいのですが、なかなかできません。ある産婦人科に通院したところ、乳汁が出ているため排卵のさまたげになると言われました。乳汁を止める薬をもらい、服用しています。しかし10日間くらい止まるのですが、また出てきます。ほんとうに乳汁が止まれば妊娠するのでしょうか。

(北蒲原中条町・O子・30歳)

A：血中のプロラクチン測定を

不妊を訴えて受診する患者さんに、乳汁漏出をみるのがしばしばあります。乳汁分泌にはプロラクチンというホルモンが関係しています。よく授乳婦人になかなか月経のこないことがあります。これはプロラクチンに排卵を抑制する作用があるためです。血液中にプロラクチンが多量に含まれている状態を高プロラクチン血症といいます。産婦人科の外来に乳汁漏出を訴えて来る患者さんの約35%に高プロラクチン血症がみられます。

高プロラクチン血症は、原因が分からない特発性高プロラクチン血症のほかに、甲状腺機能低下症、薬剤服用(胃・十二指腸かいよう潰瘍剤など)、下垂体しゅよう腫瘍などが高プロラクチン血症の原因になっていることがあります。したがって、不妊で乳汁分泌がみられる場合には、血液中のプロラクチン測定が必要です。乳汁漏出があつて高プロラクチン血症を呈するものは無月経群に多くみられますが、正常周期群でも4~5%に高プロラクチン血症がみられたという報告もあります。

血中のプロラクチンを測定して値が正常の場合には、乳汁を止める薬剤の効果は、ほかの排卵誘発剤などを併用しないと排卵率、妊娠率は低いと思われませんが、原因に関係なく、高値を示す場合は、薬剤投与により排卵誘発、妊娠成立に良い効果が期待できると思います。

すでに産婦人科専門医に相談されて、薬剤の投与を受けているということですから基礎体温を持参して指導いただければ、妊娠、出産の可能性は十分あると思います。